

所在地———東京都調布市緑ヶ丘 1-25

建築主———(学)白百合学園

設計者———株式会社 山下設計

施工者———前田建設工業株式会社

竣工———昭和54年 8 月

Location———Tokyo

Owner———Shirayuri Women's College

Design———Yamashita Architects and Engineers Inc.

Contractor———Maeda Construction Co., Ltd.

Date of Completion— August 1979

概要

建築概要

敷地面積 48,248㎡

建築面積 1,065㎡

延床面積 3,881㎡

構造規模 鉄筋コンクリート造
地下1階，地上4階

仕上げ概要

外装 屋根：アスファルト防水，軽量コンクリート押え 斜屋根：センチリーボード㊦18アスファルトルーフィング22kg長尺銅板㊦0.4横段葺きエンボス加工 外壁：磁器質タイル（小口平） 建具：鋼製カーテンウォール，アルミ，ステンレス

内装 玄関ホール 床・壁：磁器質タイル貼り
天井：透明フロートガラス+透明網入りペアガラス，アルミパネル㊦2，スチールルーバー天井／メインロビー 床：カーペット㊦8 壁：磁器質タイル貼り 天井：珪酸カルシウム板，ラフトン吹付け／大閲覧室 床：長尺塩ビシート 壁：コンクリート打放し，化粧リブ付き，AEP練付け化粧合板㊦9 天井：岩綿吸音板㊦19

設備概要

衛生 給水：井水，重力式受水槽15㎡，高架水槽 4.5㎡ 排水：既存浄化槽へ接続

空調 方式：単一ダクト方式，1・2階はファンコイルと併用，4階は水冷パッケージ方式，開架書庫は水冷パッケージ+電気ヒーター16kW×2 熱源：オイル焚き冷温水発生機 130トン

昇降機 エレベーター：乗用1基

消火 屋内消火栓，ハロンガス

近江 栄 Sakae Ohmi
伊藤 喜三郎 Kisaburo Itoh
越山 欽平 Kinpei Koshiyama

豊かな植栽に恵まれ、広々としたキャンパス内に建つ最後の、核となるべき図書館兼学生会館として計画された施設である。

内容は、図書館のほかに教官の読書研究のための個室、さらに教育の場として極めて充実した内容の視聴覚センターをふくむ複合建築である。

既存の校舎群によって生まれている外部環境と調和させ、この建物の前庭をキャンパス全体の中心となる広場として演出し成功している。

この建物へのメインアプローチから眺める印象的な段形ガラス屋根の造形は、内部エントランスホール吹抜け空間の楽しい構

成を暗示している。

ロビーに入り見上げる内部空間は、各階機能の性格に対応し重層的に構成され、上層階に昇るにしたがって特殊用途の空間を配し、各空間の独立同時使用が可能のように配慮されている。

ミッションスクールとしての性格上、宗教関係、特別書関係等の専用室が設けられ、さらに非活字資料（レコードライブラリーなど）による視聴覚教育に対しても積極的に対応できる装置が、質量ともに十分整備され活用されているのは珍しい。

また、管理上の省力化のためにコンピューターとともにブックセンシング装置を導

attractive, lofty space in the entrance hall itself. Various functions are arranged on independent levels, all of which are reached by staircases leading upward from the entrance hall and through the lofty lobby space, which penetrates all the way to the roof. The inclusion of religious literature — this is a mission school — and of a full range of audio-visual equipment and such other nonprinted matter as a record library greatly enriches the building's significance in student life. Computers are used, and book-sensing equipment improves efficiency and

入している。

この建物には多目的な機能が要求されており、また、設計者の空間構成も極めて意欲的であるだけに、施工者側の周到な計画と協力がこの建築の成否を左右するものであった。

設計、施工、建築主三者の努力の成果として、このキャンパスのもつ恵まれた外部環境とも調和したこの建物は、さらに全体の環境の質を高めている。

国公立校の施設のレベルと比較して、一般的にミッションスクールが、いかに教育環境の質を重視しているかを示す好範例のひとつである。

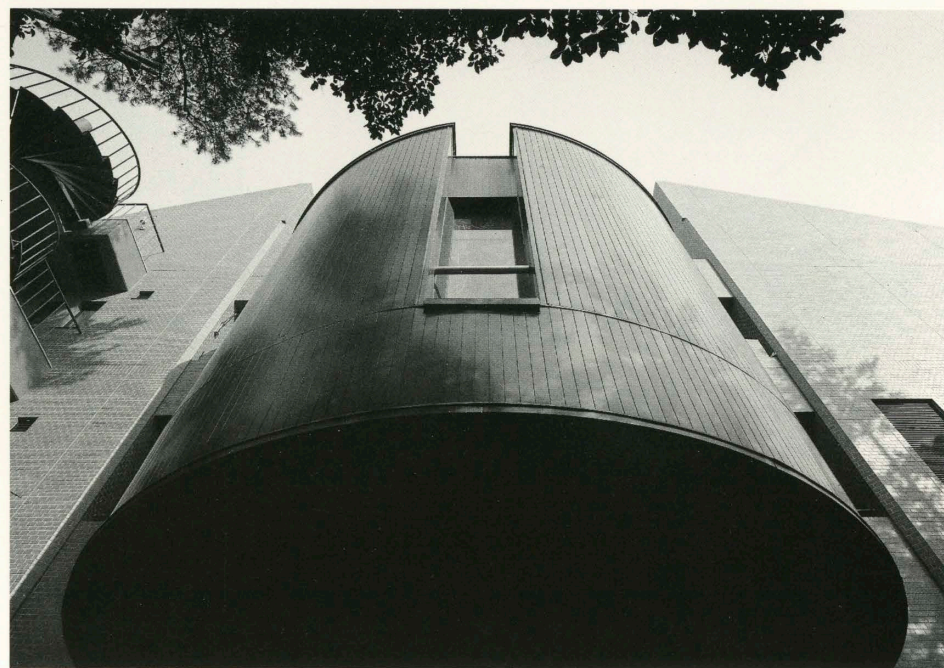
reduces staff labor.

The most careful planning and great effort were demanded on the part of the contractors to carry out the designer's ambitious proposal and to satisfy the multifunctional demands of the library. Furthermore, cooperation and effort on the parts of the designer, contractors, and owners have blended the building beautifully with its environment. This shows how much more importance private Japanese educational institutions put on environment than nationally operated ones do.





正面全景 Front view.

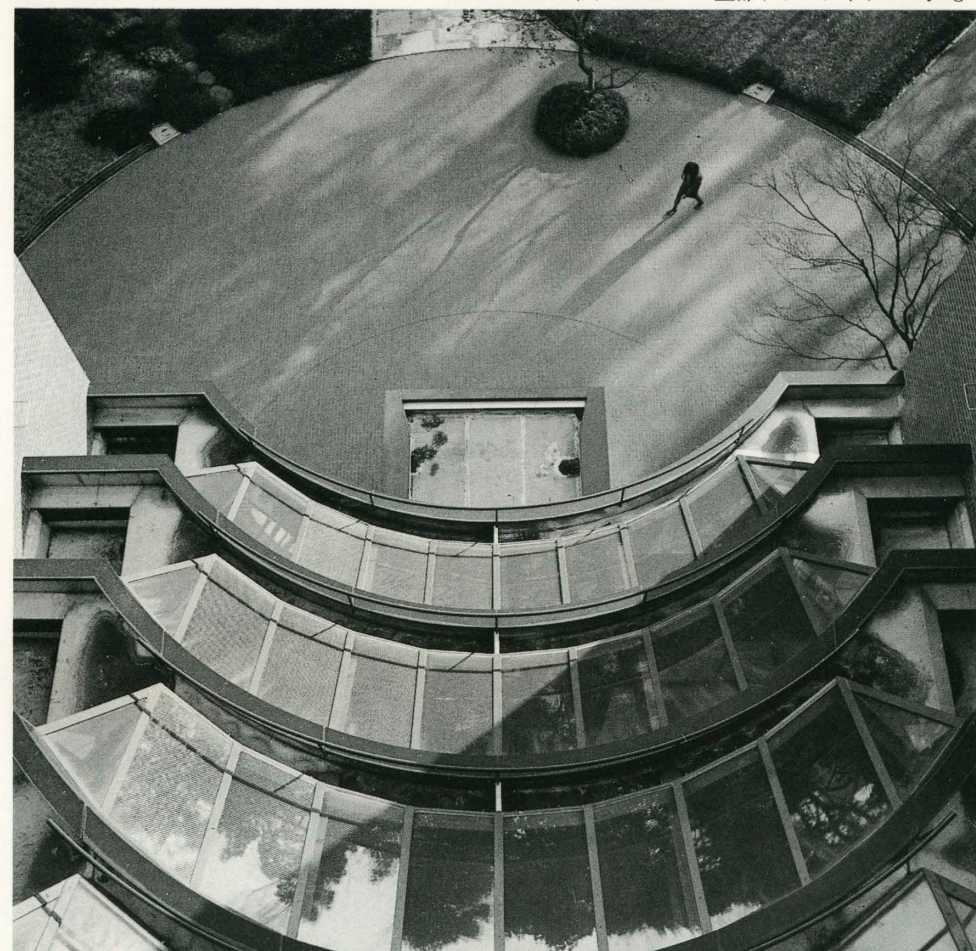


西側外観 View from the west.



北側外観 View from the north.

エントランスホール上部トップライト Skyright.





←エントランスホール Entrance hall.



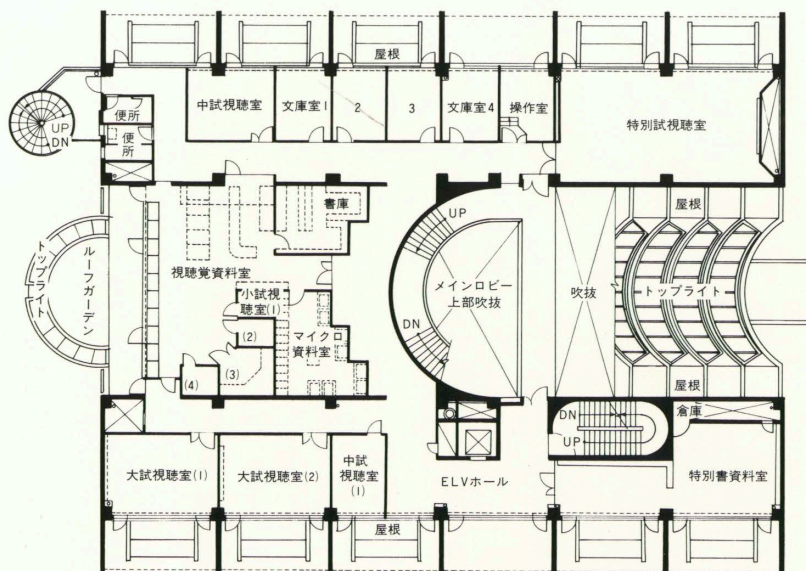
エントランスホール Entrance hall.



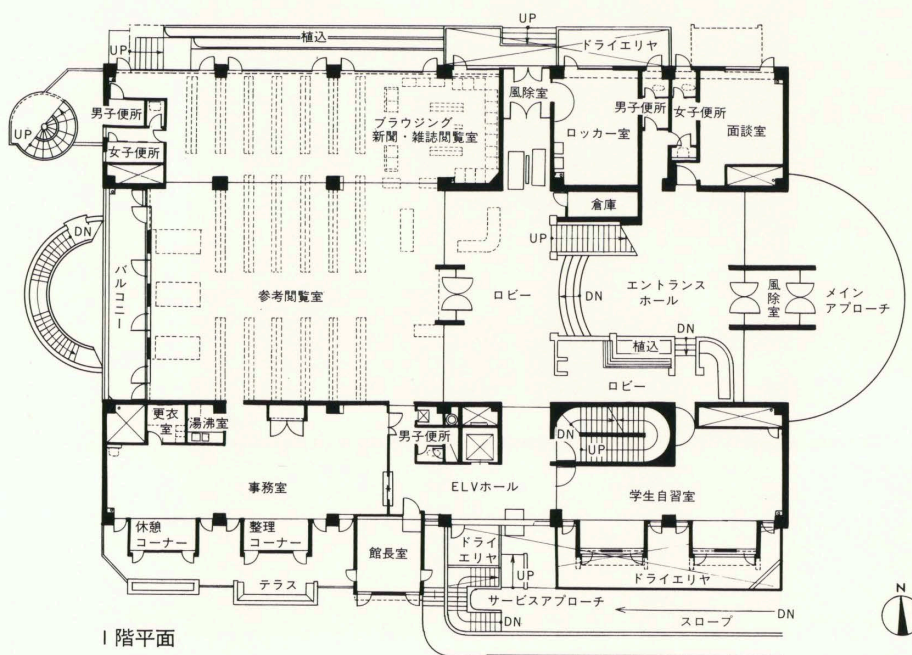
2階大閲覧室 Main stacks on the second floor.



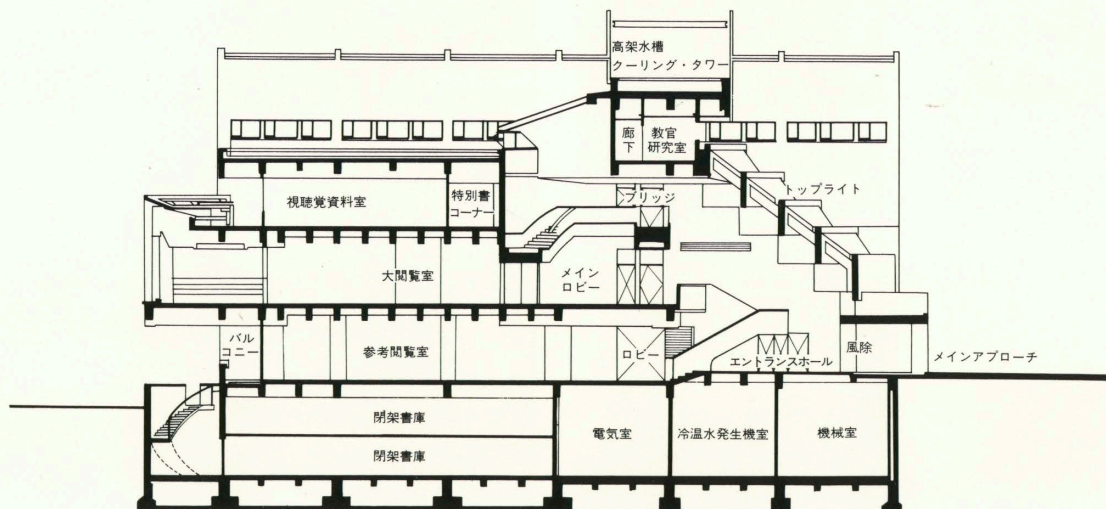
3階視聴覚室 Audio-visual room on the third floor.



3階平面



1階平面



断面